

不定詞 基礎

空欄に適する語句を選びなさい。

- The teacher told his students [] out of the classroom.

(名城大)

- ① not go [校正用: false]
- ② not to go [校正用: true]
- ③ not going [校正用: false]
- ④ don't go [校正用: false]

解答：②

【設問の解説】

「教師は生徒たちに教室から出ないように言った。」

〈tell + 人 + to ~〉で「（人）に～するように言う」という意味。この形で「（人）に～しないように言う」のように不定詞を否定形にしたいときは、**不定詞の前にnot** をつけて表す。

〈ask + 人 + not to ~〉「（人）に～しないように頼む」

〈tell + 人 + not to ~〉「（人）に～しないように言う」

〈want + 人 + not to ~〉「（人）に～しないでほしい（と思う）」

また、notのかわりにneverを使って意味を強めることもあるので覚えておこう。

The teacher told his students never to go out of the classroom. (教師は生徒たちに教室から決して出ないように言った。)

out of ~ 「～のそとへ」

空欄に適する語句を選びなさい。

- She silently stepped into the room [] wake her husband.

(山梨大)

- ① so as not to [校正用: true]
- ② not as to [校正用: false]
- ③ as little as [校正用: false]
- ④ in case [校正用: false]

解答：①

【設問の解説】

「彼女は夫を起こさないようにそっと部屋に入った。」

不定詞の副詞的用法として、「～するために」という **目的** の意味をはっきりと示すために、 **in order to** ～ または **so as to** ～ という形で表すことがある。本問は、さらにその否定形「～しないために／～しないように」という意味で表すと文意が通る。不定詞を否定形にするとき、 **不定詞の前にnot** をつけて表すので、in order to ～、so as to ～ はそれぞれ次のような形になる。

「～しないために／～しないように」

= **in order not to** ～

= **so as not to** ～

なお、in order to ～ は文頭で使えるが、so as to ～ はふつう文頭では使えないことも知っておくとよい。

空欄に適する語句を選びなさい。

- He was so lucky [] the entrance exam.

(－)

- ① as to pass [校正用: true]
- ② that it passes [校正用: false]
- ③ for passing [校正用: false]
- ④ in order to pass [校正用: false]

解答：①

【設問の解説】

「彼は幸運なことに入学試験に合格した。」
so luckyのsoに注目。「試験に合格するほど幸運だった」と考えると文意が通るので、〈so + 形容詞[副詞] + as to ～「～するほど...／とても...なので～する」を使って表す。この表現は〈形容詞[副詞] + enough to ～〉とほぼ同じ意味。

He was so lucky as to pass the entrance exam.

= He was lucky enough to pass the entrance exam.

ここに参考書リンクが入ります